

1. 件 名：国立大学法人京都大学複合原子力科学研究所の原子力事業者防災訓練に関する意見交換について

2. 日 時：令和6年1月23日（火）9時30分～10時45分

3. 場 所：原子力規制庁3階 緊急事案対策室 執務室

4. 出席者（テレビ会議システムによる出席）  
原子力規制庁  
緊急事案対策室  
蔦澤専門職、嶋崎専門官、武長専門職  
国立大学法人京都大学複合原子力科学研究所  
中央管理室副室長 他1名

## 5. 要 旨

国立大学法人京都大学から、令和5年11月7日に実施した同大学複合原子力科学研究所における原子力事業者防災訓練について、当該訓練で確認された問題点・課題、原因分析、原因分析を踏まえた対策について、ERCプラント班との訓練後の振り返りや同学内評価結果も踏まえまとめた資料1に基づき説明があった。

原子力規制庁から、以下の指摘を踏まえて、今後の原子力防災対策に向けた改善点を検討した上で防災訓練実施結果報告書の検討を行うよう、京都大学に伝えた。

- ・ 訓練結果について、新たに使用した書画装置等の状況について記載すること
- ・ 情報共有シート（COP）はERCへの状況共有のためのツールではなく本来は緊急時対策所における情報共有ツールであることを認識すること。そうすれば戦略検討の強化や進展予測の強化に繋がるものとする。
- ・ 情報共有シート（COP）のデータを更新した場合のERCへの資料提供方法について、メールを活用する等も検討すること。
- ・ EAL（特にSE06）設定の考え方について、不確実性を排除するために判断の解釈を今後検討すること。

国立大学法人京都大学からは、本日の意見を踏まえ、訓練結果報告書のとりまとめを行う旨の説明があった。

## 6. その他

配布資料：

資料1 令和5年度事業者防災訓練課題対応資料（京都大学複合原子力

科学研究所)